

みらくる

No.358

2



おきたま 男子

置賜管内で活躍する若手の組合員や職員を紹介するコーナーです。

早川弘夢 (はやかわ ひろむ)

就農6年目

高畠町 稲作・果樹農家

「つや姫」「はえぬき」など米を約30%作付けし、他に「デラウェア」や大粒ブドウを栽培しています。家族で段取りよく準備や作業に取り組み、ミスをしないよう丁寧に行っています。昨年、子どもが生まれて忙しくなりましたが、充実した1年となりました。今年も農業と子育てをともに頑張っていきます!

特集

山形県 J A 青年大会組織活動実績発表

特集

JA青年組織活動実績発表

今月号では、昨年12月9日に山形市の「協同の杜」で開催された「令和5年JA山形県青年大会」において「JA青年組織活動実績発表」の部で最優秀賞を獲得した、飯豊地区青年部の武田親祐さんの発表を紹介いたします。

JA青年組織活動実績発表 最優秀賞

シン・東京米物語

〜コロナ禍と大水害を乗り越えろ〜

JA山形おきたま飯豊地区青年部

武田 親祐

稲作体験出前授業スタート

私たちがJA山形おきたま飯豊地区青年部は、今から20年前に、盟友数の減少や参加率の低迷、参加意欲の停滞という危機を乗り越えようと、「食農教育活動」を事業の柱にしていくことにしました。

そこで、「都会の子どもたちに食べ物や農業の大切さを伝えたい」という立派な志と、「東京で遊びたいな〜。何かいい口実はないかな?」という極めてJA青年部らしい不純な動機を胸に「稲作体験出前授業」をスタートさせました。

私たちの出前授業の最大の特徴は、「農作業を教えるのではなく、米作りを通して、食と農と命のつながりを理解してもらう」ことにあります。稲作はあくまで農業を理解してもらうための「きっかけ」であり、「いただきます」という言葉は、命をいただいていることへの感謝の気持ちだ」という結論へ導いていくことを目指しています。

さらに、東京へ出向く目的は「飯豊町を知ってもらう」ことを明確



にし、「飯豊町を『いいまち』と読める子どもたちを1万人にしよう!」という目標を掲げました。

それと同時に、地域住民をはじめとした都会の消費者との交流を進め、「飯豊町ファン」を創っていくこととし、この二本柱を食農教育事業の中心に据えることにしました。

稲作体験出前授業から都市と農村の交流へ発展

授業開始当初から参加してくれている新宿区立落合第二小学校は、これまで20年間一度も休むことなく授業を続けており、この学校での活動が私たちの事業が大き

く変わるきっかけとなりました。

授業を始めてから2年目に「卒業生を祝う会」に青年部が招待されました。会場となった体育館に貼られた垂れ幕の中に、「農業の仕事について、体によい食べ物を作りたい」という一文があったのです。思わずそれを書いた児童と母親に声を掛けたところ、「飯豊町に行ってみよう」と相談され、直後の春休みにこの親子を受け入れたのです。この経験から「都会の親子を飯豊町に呼びたい」という思いがいつそう強くなりました。

3年目には参加校への働きかけが功を奏し、足立区の上沼田小学校の児童と保護者が飯豊町に田植



えと稲刈りに訪れてくれたのです。これまで一方通行だった事業が双方向へと発展。杉並区や墨田区の小学校が飯豊町を訪れてくれるようになりました。

担任や校長先生の異動にともない、参加校も増えていき、日本農業新聞やJA青年部の機関誌『地上』、テレビなど各種メディアに取り上げられ、活動が知られるようになり、応援してくれる人たちが増えました。

資金面については、JAやJA青年部本部からの継続的な支援に加え、JA共済連などJAグループや県、町からの助成のおかげで、拡大・発展させていくことができました。

広がる地域との繋がりとアンテナショップの誕生

しかし、参加校の増大に対するマンパワー不足が大きな課題でした。その解決策として、都内に在住する飯豊町出身者で組織する「東京飯豊会」に田んぼの管理指導を依頼することにし、小学校側には「米づくりの会」という自主組織を作ってもらい、学校内の引き継ぎをスムーズに行ってもらうなどの工夫を重ねました。

ところが、これまで学校へ出向いて行ける理由となっていた、「小学校5年生は稲作を学ぶ」という

教育指導要領が変更となり、稲作はやってもやらなくてもいい教科となってしまうのです。

この変化によって参加校が減るのではと危惧していましたが、逆に学校の特徴ある教育に稲作を掲げる学校が増え、公開授業や研究会に呼ばれるなど、むしろ参加校の意欲は非常に高まったのです。

目標の一つである「飯豊町を知ってもらう」ことは、生徒数の増加に合わせて順調に増えていきましたが、もう一つの目標である「飯豊町ファン」を創っていくことについては、今ひとつ決定打に欠けていました。

そうしたなか、事業開始10年目に大きな転機が訪れたのです。この稲作体験出前授業をきっかけとして、参加校の一つである杉並第四小学校を管内に持つ高円寺純情商店街との共同事業が始まりました。



た。米や日本酒のワンカップなどのオリジナルブランド商品開発を通じて連携が強まり、JA青年部と飯豊町、商店街がタッグを組んで、「山形県飯豊町アンテナショップ IIDE」の開店へと繋がる大成果を生み出しました。

ショップを拠点として、学校という範囲を超えて、商店街や自治会との交流が始まり、来店した人たちばかりでなく、地域のイベントへも呼ばれるようになり、目指していた都市住民との交流の機会が格段に増えました。

工夫と繋がりでコロナ禍を乗り越える！

すべてが順調に思えたこの事業でした……。ところが、それを揺るがす大災難が起こりました。新型コロナウイルス感染症の世界的流行です。コロナ禍により、出前授業はことごとく中止に追い込まれ、さらに、移動への制限が加わったことで、飯豊町へ来てくれる学校は皆無となってしまいました。

追い打ちをかけるように、イベントの中止や規模縮小により、地域との交流にも急ブレーキがかかり、これまで築いてきた事業が、継続不可能な状態にまで追い込まれました。

「このままではダメだ。何とかしてでも交流を続けなければ！」と

いう大きな危機感から、皆で知恵をしぼり、新たな方策を次々に打ち出していきました。

まずは、オンライン授業の開始です。インターネットに詳しい盟友の活躍により、学校との接続が順次行われました。室内からの放映だけでは臨場感が乏しくなってしまうので、田んぼの前などの屋外でも撮影できるようにレベルアップを図り、子どもたちを飽きさせないよう改善しました。

二つめはビデオメッセージの作成と定期的なオンラインによる質問コーナーの設置です。これまでも田植えや稲刈りの様子をビデオ撮影したものを授業で使用していましたが、それをオンライン授業と同時に流すことができるレベルへと高め、さらに、オンライン授業の特長を活かして、教室ごとや時間を変えて、児童からの質問に



答えるコーナーを作り、直接会うことができないギャップを埋めるよう努力しました。

一方、高円寺のアンテナショップは、私たちJA青年部の強い要望を受けて、コロナ禍が始まる直前に、飯豊町の特産品である米を積極的にアピールするべく「おにぎり」をメインとしたテイクアウト主体の店舗へと変貌していきました。そのため、コロナ禍前よりも米の取扱量が倍増し、売上が伸びて経営も上向きになるという効果も生み出しました。

未曾有の8・03大水害の発生

少しずつ日常が戻りはじめた矢先：令和4年8月3日に飯豊町は未曾有の大洪水に襲われました。盟友の田んぼや畑、ハウスなどが被災しただけでなく、青年部の新たな目玉事業として取り組み始めていた「アスパラガス栽培・収穫体験農場」も甚大な被害を受け、面積の半分が消失してしまいました。

JAや山形県などの支援を受けながら事業に取り組んで3年目。ようやくこれから地元や東京の子どもたちを受け入れていこうと意気揚々としていただけに、その無残な姿がっくりとひざを落としました。

しかし、ここでもそれを乗り越



える力を与えてくれたのは、これまで築いてきた交流の力だったのです。私たちが教えた小学生が中学生となり、その生徒たちが、テレビで飯豊町の被災を知り、青年部に直接「何かできることはないですか。ボランティアに行きたいのですが」と声を掛けてくれたのです。

被災から数週間後に彼らが飯豊町を訪れてくれました。被災したアスパラガス園地や町内の惨状を見てもらい、農作業を手伝ってももらいました。「また、来年も来ますね！」という力強い言葉を聞き、胸が熱くなりました。

災害を乗り越え食農教育の新たなステージへ

コロナ禍と大水害が青年部事業へ大きなマイナースをもたらしましたが、逆にこれまで築いてきた絆

を再認識させ、「都市と農村の交流」の継続がもたらしたすばらしい成果に気づかせてくれたのです。

どれだけ時代が変わっても、人と人が直にふれあうことで生まれる絆にかなうものはありません。地道に築いてきた繋がりがあつてこそ、困難な状況を乗り越える勇氣と力が生み出されるのです。

これまでの出前授業を行ってきた実績を振り返ると、20年間でのべ109校、9765人の子どもたちと関わってきました。途方もない目標だと思っていた「飯豊町を『いいまち』と読める子どもたちを1万人にする」という夢の実現は、もう間近となりました。

私たちの次の目標は、「稲作体験出前授業」を通じて、JA青年部のポリシーブックにある「JA青年組織強化」「食農教育」「販売力強化」を総合的に実現することです。「飯豊町ファン創り」こそ、その決め手となると信じています。

「食農教育」の新たなステージへ向けて。「シン・東京米物語」の第一幕が上がりました。「新たに」、そして「真の」という思いを込めて…。

一つ。われらは、多くの出会いから生まれる新たな可能性を原動力に、自己を高める。

JA青年組織綱領の掲げるこの言葉を胸に、これからも仲間たち

と、困難を乗り越え、より力強い青年部へと成長していきます！



地元の農産物を力に全国大会へ
JA共済カップ「春の高校バレー」
 県女子代表校の選手たちへ激励品贈呈



全国大会に向けて健闘を誓う
 米沢中央高等学校女子バレー部の部員ら

JAとJA共済連山形は12月4日、米沢市の米沢中央高等学校で「JA共済カップ春の高校バレー・第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会」で県女子代表として出場する同校女子バレーボール部に地元の農産物を贈呈しました。贈呈式では、米沢牛10キとブランド米「つや姫」60キを贈り、若林英毅組合長は「皆さんにこのつや姫と米沢牛を食べて英気を養い、全国制覇を目指して頑張ってください」と激励しました。



おきたまの話題・出来事に
 スポットを当て
 いち早くお伝えします。



長岡営業部長の説明を聞く部会員ら

次年度の栽培に向けて意見交換
ねぎ栽培講習会

JAねぎ振興部会は12月5日、JA本店で「ねぎ栽培講習会」を開きました。講習会では、(株)上町のタネの長岡堅二営業部長を講師に迎え、長ネギの良品質生産対策や栽培管理全般について指導されたほか、時期に合わせた防除方法などを説明しました。長岡営業部長は「今年は猛暑による高温で栽培管理が難しい1年であった。次年度は収穫時期を明確にして適期作業を行い、リスク管理を徹底していく」と参加者に呼びかけました。

ジューシーなラ・フランスを頼張る
ラ・フランスを学校給食で提供

南陽市地産地消推進協議会やJA南陽ラ・フランス共選組合、JAは市内の小中学校および保育施設(22施設)にラ・フランスを計960玉贈り、12月6日から8日の3日間学校給食で児童らに振る舞いました。6日には、近野寿安組合長が漆山小学校5学年の教室を訪れ「今年はおぶりだったが甘いラ・フランスとなった」と説明され、児童たちはラ・フランスを口いっぱい頼張り「果汁が溢れるくらいジューシーで甘いラ・フランスだった」と喜びの声が聞かれました。



一斉にラ・フランスを頼張る児童ら



社会福祉に役立てて欲しい
「米沢米まつり」収益金寄付

米沢市農業振興組合長会は12月6日に米沢市のすこやかセンターで、「第35回米沢米まつり」の収益金の一部を米沢市社会福祉協議会に寄付しました。例年、米沢米まつりの収益金から5万円が寄付され、寄付金は地域福祉推進事業などで活用されます。安部憲一会長は「今年も米沢米まつりに多くの方に参加いただき、収益金の中から寄付することができた。地元産新米のおいしさをPRし、地域福祉の支えになれば嬉しく思う」と話しました。

高値取引で活気ある市場に 第64回米沢牛枝肉共進会

米沢牛銘柄推進協議会は12月7日、米沢食肉公社で米沢牛の定義が生後月齢33カ月以上に改正されて初のせりが行われました。75頭の米沢牛が出品され、1頭当たりの平均価格は共進会で過去最高の188万6054円となり、出品された75頭のうち74頭が5等級と高品質な枝肉がそろいました。チャンピオン牛には白鷹町の丸川大介さんが生産した重量399キロの牛が選ばれ、1キロ当たりの単価は8894円、価格は1頭354万8706円で取引されました。

チャンピオン牛に注目する購買者ら



農作業の効率向上やけが防止に期待 アシストスーツ体験会

川西町役場で12月13日、川西町農業委員会主催のもと全農ライフサポート山形や関係機関の協力を得て「アシストスーツ体験会」が行われ、地元の女性農家が参加しました。アシストスーツは作業者の負担軽減や生産性の向上、労働力不足の解消などに注目されています。参加者は重さ10キロの水のタンクが入ったカゴや30キロの米袋を持ち上げて、効果を確かめました。参加者からは「腰が支えられて負担が少なく感じました。普段から米袋や農作物の入ったコンテナを持ち運ぶので、この機会に体験できてよかったです」などの感想が聞かれました。

アシストスーツを着用し米袋を持ち上げる参加者



工場を見学し食品管理を再認識 稲作振興会視察研修

J A稲作振興会は12月14日、愛知県碧南市にある大和産業ライスセンターを訪れ、工場内見学や山形おきたま米の販売情勢について意見交換を行いました。工場内では玄米精選から包装されて商品として出来上がるまでの工程や、管理体制などについてさまざまな設備を見学しました。また、山形おきたま米の販売情勢が報告され、小売店で好評を得ていることから令和6年産に向けて取り扱いの拡大を要望されました。

工場内を見学する参加者



議論を重ねる出席者ら



J Aの将来を見据えた慎重審議 総代連絡協議会開催

J Aは12月13日、本店で総代連絡協議会を開催しました。各地区総代協議会の会長と副会長、J A役員が出席し、第29回通常総代会で出された意見を踏まえ、総代の実出席が増えるよう今後の総代会の在り方について議論を重ねました。冒頭に議長を務めた鈴木憲一総代連絡協議会会長より「来年度は役員改選と総代選挙を控えている。J Aの意思決定機関である総代会を意義あるものにするためにご協力いただきたい」と述べました。協議では、地区の実情を踏まえた活発な意見交換が行われました。

出荷に向けて作業を再確認 タラの芽伏込講習会

J A 促成山菜部会は12月13日、J A本店で「タラの芽伏込講習会」を開きました。講習会では、置賜農業技術普及課の二瓶由美子プロジェクト推進専門員と産地研究室の横山牧子専門員、研究員を講師に迎え、部会員は伏せ込み作業の管理方法や穂木の選別から出荷までの流れについて指導されました。伊藤敏行部会長は「出荷までの管理方法について再確認し、体調や農作業事故に注意して作業を行い、良品のタラの芽を出荷していこう」と部会員に呼び掛けました。

二瓶プロジェクト推進専門員の説明を聞く部会員ら



良品質の啓翁桜の出荷を目指して 啓翁桜目ぞろえ会

J A 枝物振興部会は12月15日、J A南陽支店で「啓翁桜目ぞろえ会」を開き、秀品と優品の規格の違いを中心に、参加者は現物を手に取りながら出荷基準を確認しました。管内の啓翁桜は12月16日から出荷を開始し、1月中旬から2月上旬にかけて出荷最盛期となります。横山聡部会長は「燃油価格の高止まりや運賃価格の値上がりで厳しい情勢であるが、消費者の需要に応えられるよう品質の良い啓翁桜を出荷してほしい」と部会員に呼び掛けました。

現物を手に取り出荷規格を確認し合う参加者



受章の喜びを報告 平勇さん黄綬褒章受章を報告

12月25日、秋の叙勲「黄綬褒章」を受章した高畠町の平勇さんがJ A本店に来所し、受章報告をしました。平さんはJ A「ぶどう振興部会」の部会長を8年務め、ブドウを中心に農業の振興発展に取り組まれました。若林英毅組合長は「栄誉ある勲章を受章されたことを心よりお祝いを申し上げます。今後、置賜の農業を支えていただきたい」とお祝いの言葉を述べ、平さんは「今回の受章はJ Aや関係者の皆さんの支えがあったから、これからの活動も勲章に恥じないよう農業振興に貢献していきたい」と話しました。



黄綬褒章受章を報告する平さん（左）と若林組合長（右）

次年度のさくらんぼ安定生産に向けて さくらんぼ剪定講習会

J A 南陽さくらんぼ部会は12月22日、部会員の園地2カ所で農業技術普及課の小口主任普及指導員と管内生産者の浜田重幸さんが講師を務め、剪定を実演しました。主枝の間引き方や一本棒状に剪定する際の留意点などが説明され、参加者は樹勢を確認し改善点などについて意見を交わしました。小口主任普及指導員は「近年、気象変動による影響が続いているため、樹勢を観察し、適切な剪定を行ってほしい」と部会員に呼び掛けました。



剪定を実演する小口主任普及指導員

職場のメンタルヘルス対策を学ぶ 管理・監督者研修会

J Aは12月14日と15日にJ A本店で職員の管理・監督者が職場のメンタルヘルス対策を目的とした研修会を開きました。全日本労働福祉協会東北支部山形検診センターの遠藤政夫所長が講師を務め、職員の心の健康レベルを引き上げる対応策について事例を挙げて講義しました。近年、仕事や職場に対し強い不安やストレスを感じている労働者の増加が社会問題となっており、管理者らは部下職員が働きやすい職場環境について見直しました。

メンタルヘルス対策について真剣に講義を聞く参加者



農家の暮らしを支える農協として 令和6年 年賀式

J Aは1月4日、J A本店で「令和6年 年賀式」を開きました。J A役員職員約80人が集まり、事業発展に向けて士気を高めました。若林英毅組合長は「昨年は猛暑などの自然災害等の頻発、世界各地で紛争が起こるなど農業全般に大きな影響を受けた。社会情勢を踏まえて、今年は農家所得の向上を目指し、おきたまブランドの強化と施設整備の計画を進め、地域農業に貢献していくため組合員の期待に応えていこう」と訓示を述べました。



年頭訓示を述べる若林組合長

あなたの運勢 2月

占い師 モナ・カサンドラ

♈ 牡羊座 3/21 ~ 4/19

【全体運】友人や知人とのおしゃべりが楽しいとき。誘われたら戸惑うことでも一緒にやってみて。新しい発見にワクワク
【健康運】温熱グッズを使って体を温めて。温泉も◎
【幸運の食べ物】長ネギ

♉ 牡牛座 4/20 ~ 5/20

【全体運】困ったときこそ冷静に。状況を整理すれば打開策が見えてきます。下旬には力を貸してくれる人が出てくる予感
【健康運】前半は良好。後半は疲れをためないよう心がけて
【幸運の食べ物】カラシナ

♊ 双子座 5/21 ~ 6/21

【全体運】予定は早め早めに進めると上昇運に乗れます。旅行やレジャーは中旬までが吉。下旬は仕事に力を入れて◎
【健康運】不調を甘く見ないで。後半は回復、精力的に動けます
【幸運の食べ物】水菜

♋ 蟹座 6/22 ~ 7/22

【全体運】刺激的な状況に少し慌てるかも。臨機応変に考えればイレギュラーな事態でも得ることが。下旬は幸運に恵られます
【健康運】腰回りのストレッチは入念に。あったか下着も◎
【幸運の食べ物】ブロッコリー

♌ 獅子座 7/23 ~ 8/22

【全体運】予想外の中に今後の糧につながるものがあろう。様子を見て。人と一緒に行動するのが開運の秘訣(ひけつ)
【健康運】疲れが残りにやすいので無理は駄目。食もバランス良く
【幸運の食べ物】キウイフルーツ

♍ 乙女座 8/23 ~ 9/22

【全体運】丁寧な仕事で好感度が大幅アップ。あなたを気にかけてくれる人を大切に。下旬に出てくる問題は慎重に対応を
【健康運】ハードな作業は前半のうち。消化の良い食べ物に
【幸運の食べ物】ナバナ

♎ 天秤座 9/23 ~ 10/23

【全体運】おしゃれをして外出を。以前からやってみたかったことに挑戦してみるのもいいでしょう。行動的なほどツキがアップ
【健康運】納豆やヨーグルトなどの発酵食品を取るよう心がけて
【幸運の食べ物】セリ

♏ 蠍座 10/24 ~ 11/22

【全体運】気になることに1つずつ取り組んでいきましょう。腰を据えて動くの良い月。下旬は好情報が入ってきます
【健康運】ウォーキングやストレッチで体をほぐして
【幸運の食べ物】ホウレンソウ

♐ 射手座 11/23 ~ 12/21

【全体運】行動範囲を広げましょう。好奇心を発揮すると楽しいことに出会えます。おけいこやサークルへの参加も◎
【健康運】腹八分目が健康維持のこつ。いろんなものを少しずつ
【幸運の食べ物】ワラビ

♑ 山羊座 12/22 ~ 1/19

【全体運】マイペースでOK。やりたいことリストを作って順にやっていくのもお勧めです。お取り寄せグルメにもツキがあります
【健康運】頑張り過ぎず適度に休憩を入れて。お茶が吉
【幸運の食べ物】セロリ

♒ 水瓶座 1/20 ~ 2/18

【全体運】とても勢いがあります。多少の無理なら通るので早めに行動を起こして。下旬はのんびりモードにチェンジを
【健康運】あったかい靴下や手袋で手足の冷えをカバーして
【幸運の食べ物】ユリ根

♓ 魚座 2/19 ~ 3/20

【全体運】だんだん調子が出てきます。様子を見ながら下旬にラストスパートをかけましょう。予想以上の好結果ににっこり
【健康運】良い姿勢を心がけて。肩凝りは早めにケアを
【幸運の食べ物】フキのとう

シャインマスカット冬季販売の取り組み

生産者手取り向上と ブランド産地確立を目指して



収穫
9月中下旬まで



貯蔵
12月上旬まで

出荷
12月～1月まで

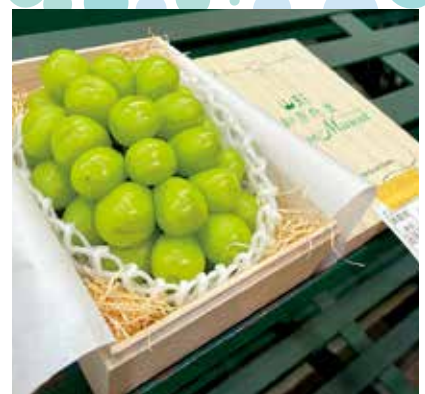
2023年産のシャインマスカットは、夏季の高温により日焼け等が発生したものの、適度な降雨と日照量が確保されたことで品質が良く、豊作傾向となりました。12月13日、年末年始需要に向けたシャインマスカットの出荷がピークを迎え、南陽市のJA広域集出荷施設には、出荷前のシャインマスカットが並びました。

昨年の9月中下旬に収穫したシャインマスカットを、南陽市の高鮮度貯蔵施設で貯蔵し、鮮度を維持した状態で、年末年始の需要に合わせて出荷し、高単価販売を目指します。1箱5房の大房からパックまで幅広い階級の商品が用意されました。

この冬季販売は、生産者の栽培技術向上と貯蔵技術が確立したことにより、12月～1月までの長期の安定出荷が可能になりました。2023年度は35トの販売を計画しています。

関東方面へ向け出発

2024年初となるせりが1月5日、東京都中央卸売市場の大田市場にて開かれました。山形おきたま産シャインマスカットが出品され、「二房入り桐箱（800g）」が過去最高値の10万円取引されました。東京青果株式会社果実第3事業部の根本浩歩課長補佐は「昨年、凍霜害や猛暑の影響により生産者は大変な状況だったと思う。初せりのシャインマスカットが前年度より高価格で販売され、最高のスタートとなった。今後、生産者の所得向上のため、販売を徹底していきたい」と決意が述べられました。取引されたシャインマスカットは、都内百貨店、スーパーなどで販売されます。



過去最高値で取引されたシャインマスカット



店舗
フルーツ美沙和
埼玉県さいたま市南区南浦和
3-17-1

12月21日、埼玉県にあるフルーツサロン「フルーツ美沙和」にて、山形おきたま産のシャインマスカットが並びました。冬でも贈答用として大変好評です。



店舗に並ぶシャインマスカット



初せりの様子



事務局 最初に仕事の概況を教えてください。

片倉さん 現在は、祖父や親戚の農家と一緒に「はえぬき」を中心に「つや姫」「ひとめぼれ」を約7畝、「大豆」を約1畝作付けしています。管理や作業の仕方は祖父に教わりながら取り組んでいます。

事務局 農業を始めた経緯を教えてください。

片倉さん 就農する前は、祖父と祖母で米作りをしていましたが、2人とも高齢になって続けることが大変になっていました。私は当時、実家から県内の専門学校に通い、IT関係の勉強をしながら、稲刈り時期は籾摺りなどの手伝いをしていました。手伝いをしていくうちに自然のなかで体を動かす楽しさや、作業にやりがいを感じるようになり、「米作りをやりたい!」と思ったことが就農したきっかけだと思います。また、小さい頃から農業が身近にあったことも就農を決意した理由の一つでもあります。

事務局 農業を始めて嬉しかった



長井地区青年部
片倉麗斗さん
平成13年10月4日生まれ (22歳)

ことは何でしょうか。

片倉さん 初めて稲刈り作業をした時に、自分が一生懸命育てた米がどのくらい収穫出来るのかワクワクしました。自分でコンバインを操作しての収穫は達成感があり、嬉しかったです。祖父にさまざまなことを教わり農業を続けることで、出来ることや知識が増え、より楽しさが実感できました。

事務局 農業を始めて大変だったことや苦労したことは何でしょうか。

片倉さん トラクターの運転は特に苦労しました。代掻きの作業中に田んぼの畦を壊してしまい、祖父に注意されたこともありました。今年は昨年よりも運転が上手くなりましたが、祖父と比べるとまだまだなので頑張りたいですね。

事務局 青年部に加入したきっかけ

けや取り組んだことをお聞かせください。

片倉さん 以前は父が青年部に所属していましたが、私が就農すると同時に父と交代で加入しました。青年部活動として取り組んだのは、地元の子ども達に野菜の苗の植え付けや育て方を指導した

ことです。小学生に教える経験は無かったのですが、わかりやすく伝えることに苦労しました。子ども頃から農業に触れる機会が貴重なので良い活動だと思えます。今後も青年部の活動や交流する機会があれば積極的に参加していきたいです。

事務局 仕事へのこだわりや気をつけていることはありますか。

片倉さん 草刈りや田植え、籾摺りなどの作業を丁寧に行うことを意識しています。特に田植えは間隔がずれると、苗の成長にバラつきが出るなど米の品質に影響するので、一定の間隔で田植えするよう気を付けています。

事務局 今後、目指していく目標はありますか。

片倉さん 弟が置賜農業高校に入学しており、働けるようになったら兄弟と一緒に農業をしていきたいと考

えています。近年、離農する方が多いため、若手農家である自分達が支えていきたいと思えます。将来的には作付けを20畝ほどに拡大し、農業をしていくことが目標です。

事務局 話は変わりますが、趣味やプライベートはどのように過ごしていますか。

片倉さん 最近は友達とゲームをして過ごしていますが、夏の時期は仕事終わりに仲間同士でサッカーをして楽しんでいました。

事務局 最後に読者の皆さんへ「ひと言」お願いします。

片倉さん 1年毎に出来ることを増やして、自分なりに農業を楽しんで頑張りたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いします!

【聞き手】 長井地区青年部事務局

鈴木 笑葉





JA山形おきたま 南陽地区女性部

- 部長 須貝とみ子
- 部員数 48名

JA南陽地区女性部は、今年度3地区を一本化して活動を開始しました。今年は、地区の農繁期を避け、花の寄せ植え教室からスタートしました。通年実施している事業ですが、人気があり潤いのある活動です。心が豊かで楽しい気分になり、会場のあちらこちらで笑顔の花が咲きました。

新しい試みとして、部員の希望もあり地区交流会を開催しました。部員全員が参加できるよう講演会と芋煮会を行いました。今回の地区交流会を通して、参加者は地元の良さを再発見することが出来ました。芋煮会では農業の話や料理の話など、話題が尽きず有意義な交流会となりました。

寄せ植え教室「南陽市の秋を花で表現」(10月7日)

南陽市宮内の花のかめや本店さんを講師に迎え「南陽の秋」をイメージした花の寄せ植え教室を開催しました。選果場の広いスペースを活用し、プラスチックパレットを部員の背の高さに合わせて重ね、植え付け作業をしやすくするなど工夫をしました。花材は南陽市の花、菊をメインにコスモスや、寒くなってからも美しい葉ボタンなど、講師から育て方などアドバイスを受け、楽しくおしゃべりしながら作業を行いました。



最後は、記念撮影会



宮内班



沖郷班



梨郷班



女性部研修会・芋煮会 (10月30日)



南陽市地域おこし協力隊
奥田幸子さん

女性部研修会では、部員や事務局ら21名が参加し、南陽市の地域おこし協力隊 奥田幸子さんを講師に迎え、「世界を旅して見た田舎南陽の素晴らしさ」と題した講演会を行いました。講師の奥田さんは10年間ニュージーランドなどの外国で過ごし、帰国後東京の外資系企業に15年間勤務した後に、心豊かな生活を求め南陽市へ移住し今年で3年目となります。農作物販売促進の業務や自身もアスパラ栽培から出荷までを行うなど、現

在までの暮らしを楽しく講演いただきました。奥田さんは「3年間南陽市で生活したが、とにかく治安が良く安全で食べ物が美味しく空気がきれい。雪も多いが自然と調和しながらの暮らしと、お会いする住民の人間性が素晴らしい!」と絶賛し「これからも南陽市の魅力を伝え、楽しく暮らしていきたい」と締めくくりました。

講演後は、美味しい芋煮と持ち寄った料理を堪能しました



自慢の料理がテーブルにずらり



「塩こんぶとツナの炊き込みご飯」の作り方を伝達

他にも、班活動では班長自ら栽培した「ひょうたん」を使った「ひょうたんランプ」やウッドボード作りも実施しました。今後もみそ作り・焼肉のたれ作りなど予定しています。そんないろんな活動が、毎日をイキイキと輝けるエネルギーになればと思います。

JA山形おきたま女性部 フードドライブ活動



JA山形おきたま女性部では、賞味期限内のまだ十分食べられる食品を持ち寄り、福祉団体等を通じて、様々な理由で食の支援を必要としている個人や団体に食品を無償で提供する「フードドライブ活動」を毎年実施しています。JAグループ山形が取り組む「子どもの居場所づくり」サポートプロジェクトと連携しており、今年度も年2回の要請があり実施しました。上半期は6月の山形県JA女性部長・事務局合同会議の開催に合わせ県全体で取り組み、下半期はJA女性部ごとの自主的な取り組みとし、おきたま女性部独自で社会福祉協議会等と連携し行っています。

フードドライブとSDGs

SDGsの17のゴールのうち、フードドライブの活動に大きく関係しているものは、「1. 貧困をなくそう」、「2. 飢餓をゼロに」、「3. すべての人に健康と福祉を」、「12. つくる責任 つかう責任」、「17. パートナーシップで目標を達成しよう」の5つです。



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



12 つくる責任 つかう責任



17 パートナーシップで目標を達成しよう

始まり～現在

平成29年	県JA女性部長・事務局合同会議から食品ロスの削減に向け開始。NPO法人やまがた福わたし様を通じ寄贈
平成30年 ～ 令和元年	県JA女性部長・事務局合同会議に年2回寄贈する形で実施。コロナ禍となった時期でも活動は中止せず、置賜管内へ寄贈
令和2年	コロナ禍の影響により年1回の実施となったが、地元の米沢・長井の社会福祉協議会に食品や紙おむつを寄贈
令和3年	第2回シーダー研修会時に各地区数量を限定し持ち寄り、NPO法人やまがた福わたし様へ精米60キロ、乾麺22キロ、その他食品11.5キロを寄贈
令和4年	第2回シーダー研修会時に各地区から持ち寄り、米沢市NPO法人から・ころセンター様へ精米、りんご、白菜など農産物を中心に食料・衣料用洗剤など計220キロを寄贈
令和5年	県JA女性部長・事務局合同会議で寄贈運動が復活。おきたま女性部独自に11月下旬、米沢市NPO法人から・ころセンター様と長井市あずま〜るキッズ様に精米60キロ、缶ジュース150本、菓子など寄贈。JAグループ山形が取り組む「子供の居場所づくり」サポートプロジェクトと連携し、JA山形おきたま農政対策本部が地元農産物を寄贈する同じタイミングでフードドライブ活動を実施



JA女性部には以前から「困ったときはおたがいさま」といった相互扶助の精神が根付いており、東日本大震災やコロナ禍の災害を経て、ますます地域コミュニティを支える重要な役割を担っています。何をかうにも高騰している中、部員からは毎年多くの食品や日用品を提供いただき本当にありがたく感じており、今後も困っている人たちを支援する組織でありたいと思います。



平 純子 委員長

JAバンク

NISA

をJAバンクではじめても
れなくもらえる

対象期間
2024.01.01
2025.03.31

資産形成・運用
デビュー特典!!!

最大

22,000円分

資産形成・運用
はじめてならJAバンク!

ギフトをプレゼント!

条件 | NISAの新規口座開設+指定金額以上の投信購入

©よりそろ

つみたて投資枠をご活用し、条件達成された方

組み合わせ
+
OK

成長投資枠をご活用し、条件達成された方

毎月10,000円以上のご購入で

2,000円分
プレゼント!

オンラインで
特典にお申込みの方



デジタルギフト*

窓口(紙申込書)で
特典にお申込みの方



QUOカード

100万円以上のご購入で

20,000円分
プレゼント!

オンラインで
特典にお申込みの方



JAタウン
ギフトカードコード

窓口(紙申込書)で
特典にお申込みの方



JAタウン
ギフトカード

オンラインでかんたん!

今すぐデビュー特典に申し込む



窓口にもっていくだけ!

紙申込書をダウンロードする



★デジタルギフトは「FamiPay」と「Amazonギフトカード」からお選びいただけます。株式会社ギフトの「えらべるPay」でのご提供となります。
【えらべるPayの注意事項】●ラインナップの中から好きな商品と交換していただけます。●ポイント数は受け取ったチケット券面をご確認ください。●ラインナップおよび交換に必要なポイントは付与されたギフトにより異なり、変更になる場合がございます。●ポイント交換レートは商品により異なります。記載された必要ポイント数をよくご確認の上、商品と交換してください。
【Amazonギフトカードの注意事項】●本キャンペーンはJAバンクによる提供です。本キャンペーンについてのお問い合わせはAmazonではお受けしていません。JAバンクデビュー特典事務局(0120-988-419)までお願いいたします。●Amazon、Amazon.co.jp およびそれらのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
●JAタウンギフトカードコード・JAタウンギフトカードは、JA全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」内での商品代金のお支払いにご利用いただけます。

少額から
資産運用ができるぞう

JAバンクの NISA って?

- 毎月少額から投資可能
- いつはじめても非課税保有期間が無期限
- 年間最大360万円/投資限度額 最大1,800万円

JAバンクの
NISAを
詳しく見る▶



投資信託の
ネット購入は
こちら▶



JA口座をお持ちの方は投信をネットでも購入いただけます。

おきたまクッキング



2月3日は節分です。冬の寒さや災いを追い払おうとする行事です。節分の豆まきに使用される大豆は「小さな一粒に大きな栄養」といわれ、良質な植物性たんぱく質と脂質が多く、毎日の食事に取り入れたい食材です。豆腐や納豆などの加工品だけでなく、ぜひ豆から調理し素材そのものの「うまみや香りの豊かさ」を再確認してみましょう。

塩分量(全量) 5.82g



いわし入り野菜豆

材 料 (作りやすい分量)

- 茹で大豆 150~180g
 - いわし 3尾
 - ごぼう 100g (1/2本)
 - ニンジン 1/2本
 - れんこん 1/2節 (80g位)
 - しいたけ 3枚
 - しょうが 1かけ分 (薄切り)
 - 昆布 10cm (7mm角程度に刻み3カップの水で戻す)
 - 昆布の戻し汁 カップ1
- ◆ 材料のマークについて
 大 = 大きじ
 小 = 小さじ
- しょうゆ 大 2
 酒 大 2
 砂糖 大 1
 みりん 大 1
 酢 大 1

作り方

- ①ごぼうは皮をこそげ1cmの輪切り、ニンジンとれんこんは皮をむき、1cm角に切り、しいたけも1cm角に切る。いわしは頭を切り落として、3枚におろし腹骨を取りひと口大に切る。
- ②鍋にしょうが、戻した昆布と戻し汁、ごぼう、ニンジン、しいたけ、れんこん、茹で大豆を入れて中火にかけ、煮立ったら④を加えてふたをし、10分ほど煮る。
- ③いわしを加えて、クッキングシートで落しふたをして弱火で15分ほど煮る。

POINT

魚が苦手な方は、ちくわやさつま揚げ、こんにやくなどお好みの具材を入れてください。煮たあと一晩置くと味も深まりおいしくなります。献立にもう1品加えたいときに、さっと出せて便利です。



一人当たりの塩分量1.0g

コチュジャンポテト・ビーンズ

材 料 (2人分)

- 茹で大豆 大 2~3
 - じゃがいも 2~3個 (約300g)
 - エコープマークこめ油 大 1
- ◆ 材料のマークについて
 大 = 大きじ
 小 = 小さじ
- コチュジャン 大 1
 砂糖 小 1/2
 しょうゆ 小 1/2
 バター 5g
 おろしにんにく お好みで少々

作り方

- ①じゃがいもは洗って皮付きのままやわらかくなるまで茹で、ザルに取り皮をむき、ひと口大に切る。④をボールに入れ混ぜておく。
- ②小さめのフライパンにこめ油を熱し、①を加え転がしながら焼く。
- ③焼き色がついたら茹で大豆を加え、軽く混ぜたらフライパンの油をキッチンペーパーで取り、混ぜておいた④を加え、直ぐにからめて火を止め器に盛る。

POINT

こってりからんだコチュジャンの甘辛味がクセになります。芋はサツマイモでもおいしいです。使用する芋は洗ってラップに包み、電子レンジでやわらかくなるまで加熱しても可。にんにくは入れすぎないように注意 (入れなくてもよい) してください。

クロスワードパズル Crossword puzzle



正解者に抽選でプレゼント

★米沢牛（2名）

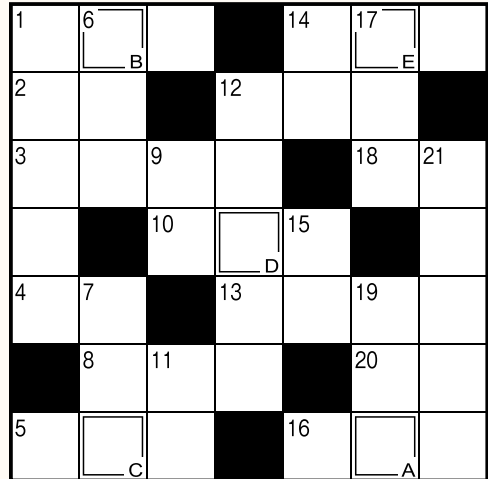
★クオカード（10名）

↓タテのカギ

- ① フキの花茎のこと
- ⑥ 銀世界を眺めて楽しめます
- ⑦ ガイド——を片手に観光地を巡った
- ⑨ 安倍川にして食べようかな、磯辺巻きもいいな
- ⑪ 日没のことを日の——ともいいます
- ⑫ 雪だるまを英語（片仮名語）でいうと
- ⑭ 佐渡島にはこの鳥の保護施設があります
- ⑮ 漢字には音読みと——読みがあります
- ⑰ 平方根を表す記号
- ⑲ 魚偏に「弱」と書きます
- ⑳ 中国や台湾の旧暦の正月

→ヨコのカギ

- ① 最低気温が0度より低い日
- ② 現代人は電子——に囲まれて暮らしています
- ③ 水筒に入れます
- ④ ヒヒーン!といもなく動物
- ⑤ スマホに入れたり消したりします
- ⑧ ベッドが2つある部屋
- ⑩ 頬のこと。——ダンス
- ⑫ スラロームやモーグルなどの種目があります
- ⑬ 人がいっぱいに入っている状態
- ⑭ 西アジアの国の1つ。首都はアンカラ
- ⑯ 空気が乾燥しているので——器をつけた
- ⑰ 節分の豆を——の数だけ食べた
- ⑲ 実がなるまでの期間が短めの品種のこと



クロスワードを解いて、A→Eの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。

ヒント

真白い雪の斜面に描く。

応募方法

官製はがきなどにクイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・本誌やJAに関するご意見・ご感想を必ずご記入の上、〒999-0121 川西町上小松978-1 JA山形おきたま総務課宛にお送り下さい。
締め切り 1月31日(水)必着

1月号の正解は

A B C D E
ハツヒノデ

でした



1月号当選者

★米沢牛（2名）

渡部 忠一様 高畠町 宇津木 京子様 飯豊町

★クオカード（10名）

吉田 涼子様 米沢市 高石 ち糸子様 長井市
南波 キク子様 米沢市 新野 勝子様 長井市
高橋 真子様 高畠町 紺野 徹様 白鷹町
岸 たけ子様 南陽市 高橋 道子様 飯豊町
寒河江 千恵美様 川西町 斎藤 ゆかり様 小国町

※当選者ならびに手紙・イラストなど掲載時の住所、氏名の紹介について、ご了承のうえご応募下さい。
なお、応募ハガキの個人情報は、当JAの事業運営に関すること以外の目的には使用しません。



〈役員会だより〉 左記の事項を協議しました。

◎理事会の報告

第8回理事会

開催日・場所 12月28日(木)・本店

【協議事項】

第1号議案 令和5年度上半期監事

第2号議案 組合員に対する貸出条

第3号議案 組合員外に対する貸出

第4号議案 農水産業協同組合貯金

第5号議案 令和5年度第4四半期

第6号議案 令和5事業年度半期開

第7号議案 出資金減口の承認につ

いて

◎監事会の報告

第11回監事会

開催日・場所 12月8日(金)・本店

【協議事項】

第1号議案 山形県常例検査の結果

第2号議案 令和5年度第3四半期

監事監査の実施につ

第12回監事会

開催日・場所 12月28日(木)・本店

【協議事項】

第1号議案 上半期監事監査意見に

第2号議案 令和3年産加工用米等

第3号議案 貯金保険機構の検査結

第4号議案 果に対する改善状況報

告にかかるとの監事の意見

について

第3四半期監事監査の

実施について

2月の無料法律相談

当JAは、無料で法律相談を承っています。相談ご希望の方は、各支店にお申し込み下さい。

▼開催日時・場所

2月26日(月)午後3時～午後5時

本店(川西)

▼相談弁護士 工藤剛先生

▼相談内容 交通事故、相続など

2月の無料税務相談

当JAは、税に関するさまざまな相談を無料で承っています。相談ご希望の方は、予約制です。次の問い合わせ先までご連絡下さい。

▼開催日時・場所

2月20日(火)午前10時～午後3時

本店(川西) ☎46-31112

▼相談税理士 仁科孝先生

おきたまの料理店

らーめん居酒屋 来々軒

住所 飯豊町大字椿4436
電話番号 0238-72-2148
営業時間 11:00～14:00
17:30～23:00
定休日 月曜日



おすすめ料理

豚キムチラーメン

＜店主 信田 明宏さんへのインタビュー＞

■編集部：来々軒はどのようなお店でしょうか。

◆信田店主：お昼はらーめん屋で、夜からはらーめん居酒屋として家族連れや飲みに来るお客様が多いです。創業して56年になりますが、地元の食材や自家菜園で育てた新鮮な野菜で作ったらーめんのご飯物を提供しています。

■編集部：店主の料理へのこだわりを教えてください。

◆信田店主：料理は出来る限り手作りで、時間をかけた丁寧な調理をしています。また、飯豚をとりけるまで煮込んだチャーシューは自信作なのでぜひ食べていただきたいです。

■編集部：店主のおすすめの料理をご紹介ください。

◆信田店主：「豚キムチラーメン」をおすすめします。お客様からのリピートが一番多く、「また食べたい」と好評です。創業してから付き合いのあるお店から仕入れている手もみの麺を使用しており、モチモチとした食感が特徴です。

■編集部：読者の皆さんへ一言お願いします。

◆信田店主：他のお店にはない本店のオリジナルらーめんを考えて作り提供していますので、ぜひ味わってください。

